



誠実さと謙虚さ

校長 海發 真一

勉強や仕事で成果を上げている人を見ると、共通している姿勢や態度があります。私自身も大いに見習い、自己の向上に役立てようと努力していますが、それは、ものごとに向き合う誠実な姿勢と謙虚な態度です。

「誠実」とは、真心がこもっていて偽りがなく、かつ、「謙虚」とは、自分の能力等におごり高ぶらない素直な自己の在り方です。「あの会社は誠実さを顧客に見せた経営を行っているので、とてもうまくいっていますね」、「あの人には『自分はまだまだ未熟なのでもっと努力しよう』という謙虚さがあるので、人からも好かれるし、大きな成長が期待できますね」などといわれます。

では、勉強における誠実さ、謙虚さとはどのようなことなのでしょう。

私は数学の教員で、大学は理学部数学科に行きました。卒業式の日にお世話になった先生から、「皆さんは4年間数学を勉強して、そこには妥協を許さない厳しい世界があることを知ったでしょう」というお話をいただきました。大学の勉強に限りがありませんが、授業を聞いたり教科書を読んだりして、理解できないことに出くわしたとき、わからないことをごまかしたり、わかったふりをしてその場をやり過ごすといった態度は不誠実であり、謙虚さを欠いています。他者に教えてもらい、理解が促されることも多くありますが、自分の頭できちんと理解するためには、その問題にしっかりと向き合い本気で考え抜く姿勢、すなわち誠実な努力が必要になります。また、このことにより論理的思考力や判断力、表現力といった力も同時に育まれていきます。学生の頃、ある問題を質問した際に先生から「一週間、考えましたか」と聞かれて、ハッとしたことを思い出しました。勉強における誠実さ、謙虚さとは、問題に正対し、「自分の頭で本気で考える」という姿勢や態度で臨むことです。

しかし、実際の場面においては、わかるまでは先に進まないというのでは、勉強がはかどりません。わからない状態を抱えつつ、先に進みながら考え続けると、「あっ、そういうことだったのか」と後からわかってくることも多々あります。

謙虚さを兼ね備えた人は、他者から好感をもたれると言います。できていないことについては素直に認め、できるようになるために誠実に努力すれば、自己の能力向上とともに、人はその姿勢や態度を評価しますが、言い訳をしたりごまかしたりしていれば、力量の向上は見込めないどころか、人からの評価もそうはなりません。誠実さと謙虚さは、社会を生きる姿勢として大切なものだと思います。

初めてのぼろにあ祭

第1学年 谷岡 信幸



1年生にとって初めてのぼろにあ祭を終えました。戸惑うこともあったと思いますが、皆がしっかりと取り組んでいたと思います。A組は謎解きの映像、労力が窺える作品でした。B組はユーモア溢れる映像、楽しそうな撮影風景が微笑ましく偲べれます。C組はテレビCMやミュージックビデオ風の映像、こちらも長編の大作でした。D組はコスプレとミニゲーム（ストラックアウト）、常に来場者で賑わっていましたね。E組は黒板アニメーション動画とユーモア溢れる動画、切なさやユーモアのコラボレーションでした。F組はアートスタジオ、フェイスペイントをして顔出し看板で撮影でした。最優秀クラスはA組でした（A組は体育祭も学年優勝しましたね。合唱祭では三冠を目指して頑張ってください。）が、自分なりに精一杯やり遂げたなら、皆が最優秀です。これからの学校行事、部活動、学業と精一杯取り組んでいきましょう。

身体感覚器官を動員して

副校長 増田 雅子

多くの勇気や感動を与えてくれたリオオリンピック・パラリンピック大会が閉幕しました。研ぎ澄まされた身体能力、そして、失うものがあっても新たに発達し進化していく身体能力、躍動するエネルギーやアスリートの意志、そして人間の限りない潜在能力の奥深さを教えられました。

結果(勝敗)にかかわらず、チャレンジしていく姿と共に、アスリートを支える人々の様々な知恵、労力を惜しまないサポートや愛情が結集されていることに感動しました。オリンピックだけでなく、運動やスポーツは障害者も、高齢者も、すべての人がスポーツを楽しみ、身体感覚器官を総動員し身体との調和を図ることが、健康や未病の元となります。また、スポーツだけでなく、芸術活動や自然との対話により、人間は様々な感動や心地よさを味わい心身共に健康になります。

また、今回のリオ大会、特にパラリンピック大会では選手と彼らを支える人々とのコミュニケーションがクローズアップされました。その意味で、田園調布高校のオリパラ教育では、12月に高桑早生選手(エイベックス所属)を招聘し、リオでの様々なコミュニケーションを含めた、貴重な体験をお聞きすることになっています。朝日新聞の【チャレンジド】を検索してみてください。高桑選手は自分の意志を貫くために、沢山の言葉を自身に投げかけて挑戦してきた魅力的な女性アスリートです。2020年東京オリンピックでは「ポジティブ スイッチ」をキーワードに掲げることにより、障害があることが新たな可能性を開くこと、世界に大きな変革をもたらすことをメッセージとして発信します。

もうひとつのオリパラ教育は、11月23日のコーディネーショントレーニング講習会です。コーディネーショントレーニングとは、平衡感覚や反応能力を獲得するために、感覚運動の統合や時間と空間をつかむ能力等反応リズムを統合し、ヒトが持って生まれた能力を蘇らすように、自分の身体に問いかけをしながら進めていくトレーニングです。幼稚園や小学校では運動能力や体力の向上に成果が出ています。これから幼児教育や教職系に進もうとしている生徒にはぜひ参加してほしい講座です。

文化祭も終わり、受験・学習モードに切り替わった田高生。英語や古典を覚えるには音読をします。「声を出して読む」ということは、目で文字を追う速さにより視覚から、口の動きや声の出し方から発せられる音として脳に入る言葉により聴覚から、脳の記憶の座に刺激を与えられます。今ひとつやる気が出ないときは「よくやったね!」「今から勉強!」「後もう1問!」などなど「声を出してもう一人の自分を」ほめたり励ましたりする習慣により自分の行動を変えていくことを実践してみましょう。行動分析学では「オペラント条件付け」という効果のある方法です。「言行一致」という熟語がありますが、行動を変えようとする言葉には「言行一致」のパワーが宿るといわれています。

脳と感覚器官と身体を総動員して Become Positive になる Switch を常にオンにする習慣を日常生活に取り入れるよう努力しましょう。

校内工事のお知らせ

経営企画室

9月23日(金)から本校プール排水管の修繕工事を行います。騒音等の発生は極力抑えて実施する予定です。場所は教室棟裏柔道場付近ですので、工事期間中は現場に近づかないようお願いします。

絆深まる2学年

第2学年 玉田 将太

笑顔溢れるぼろにあ祭。校内どこを歩いても楽しそうな話し声や笑い声が響き渡っていました。2年生はクラスでも部活でも委員会でも学校の中心として動くことが多かったと思います。徐々に自覚や責任も芽生え、頼もしい姿をたくさん見せてくれました。学年企画のモザイクアートも教室展示もそうですが、自分の出番があって、本気になった時、生徒の内面は大きく成長していくのだと実感しました。2年生の担任をやらせてもらっていることにあらためて感謝したい気持ちになる充実したぼろにあ祭でした。次は10月に修学旅行、2月に合唱祭もあります。クラス、そして学年が一段と「絆」を深め、今後まだまだ成長していく姿に期待します。



希望の光が見えてきた！

第3学年 荻原 秀明

3年生期待の演劇祭が終わりました。3クラスが受賞するなど出来栄は上々です。420時間の勉強目標を立て夏休みに入りました。夏休み中は大道具の作成と台本を作り、夏休みの最後にやっと、体育館の舞台で立ち稽古。状況は「グダグダ」だったのを思い出します。リハーサルも、どのクラスも真面に出来ず本番となりました。いざ、本番。実に凄い「本番の底力」素晴らしい。完成度も全体的に高い作品になりました。

さて、これからは受験に向けて邁進して欲しいと考えています。誰もが、「本番の底力」を発揮して目標を達成できることを願っています。

- A組 人生やりなおしゲーム(ステージ効果賞)
- B組 good germ VS bad germ in the bowels
- C組 バナナ星人(脚本賞) 切明主国(優秀演技賞)
- D組 青春トイレ(演劇祭大賞) 馬場勇氣(優秀演技賞)
- E組 3年E組花咲先生
- F組 謎解きはランチのまえに



ぼろにあ祭を終えて

生活指導部 手塚 登

9月の10日(土)と11日(日)に、第52回のぼろにあ祭が「千祭一遇～ボクは田高に恋をする～」をテーマに実施されました。今年、係生徒のアイデアを基に入場門もリニューアルされ、開会式・閉会式にも団体アピールの時間や有志生徒のアトラクションが取り入れられるなど、新しいぼろにあ祭の動きが見られました。9月に入ってから準備日数が例年以上に短い中、各団体とも急ピッチで仕上げ、最後は充実感の得られる2日間を送れたものと思います。

表彰結果は、以下の通りです。

立て看板(パネル)コンテスト大賞 ダンス部
最優秀団体賞 ダンス部

「Nothing is gonna stop us! ～from D.D.C～」

1学年最優秀クラス賞 1年A組

「REDSORE ～追試からの脱出～」

2学年最優秀クラス賞 2年E組

「廃校に、ハイ行こう!」

3学年演劇祭部門

ステージ効果賞 3年A組 「人生やりなおしゲーム」

脚本賞 3年C組 「バナナ星人」

優秀演技賞 3年C組 切明主国 3年D組 馬場勇氣

演劇祭大賞 3年D組 「青春トイレ」

なお、私見ではありますが、審査の方法については、例年指摘されるとおり、単純な投票による集計結果のみで各賞を決めるやり方でよいのか、それ以外の要素も加味して決めるべきであるのか、検討の余地があるように思います。

最後になりますが、ご協力いただいた、全ての皆様に感謝いたします。



田高進路プロジェクト2016

進路指導部 相原 弘明

6月16日(木)6,7校時 第2学年全生徒を対象に、大学の講義を実際に体験する「大学出張講義」を実施しました。各分野の先生方の講義を聞くことで、大学の授業の様子を知ると同時に、広く一般教養を高めるとも良い機会になりました。

また、7月12日(火)5,6校時 第1学年全生徒を対象に、教科「人間と社会」の一環でいろいろな職業の方のお話を聞く「しごと」を実施しました。第一線で働く方たちの貴重な体験談などを参考に、自分の将来への展望を拓く足掛かりとなることを期待しています。

——2年「大学出張講義」：講義タイトルと講師紹介——

- 1 法政大学大学院 政策創造研究科 坂本研究室
「人を幸せにする会社」に学ぶ
- 2 東京大学 教育学研究科 教育心理コース
「高校生のための心理学入門」～心理「学」のイメージをつかむ～
- 3 東京大学 総合文化研究科 超域文化科学専攻
「分からないことを増やそう！」
- 4 東京大学 総合文化研究科 共生のための国際哲学研究センター
「グローバリゼーション研究について」
- 5 慶應義塾大学政策メディア研究科
「江戸時代のサロン文化」
- 6 慶應義塾大学環境情報学部
「スマートフォン時代のユーザーインターフェース」
- 7 東京大学工学部工学系研究科 電気電子工学科 工学系研究科総合研究機構 杉山研究室
「太陽電池と水素でつくる化石燃料に頼らないエネルギーシステム」
- 8 東京大学地震研究所物質科学系研究部門(所属:地球流体破壊部門/専門:地球惑星システム学)
「火星の科学」
- 9 東京学芸大学教育学部広域自然科学講座
「全部の単子葉植物の維管束が茎の中で「散らばっている」わけではない」

——1年「しごと」：講座担当(職種)と内容——

- 1 NTT ドコモ(通信) ～よりよい未来をつくる研究開発の仕事～
- 2 WWF ジャパン(世界自然保護基金)(公益法人) ～世界地図に自分の生涯を描く～
- 3 東京都庁(行政) ～ライフワークとライスワーク 自分の地域を想う気持ち、地方公務員のリアル～
- 4 キャリアコンサルタント(教育)
～あなたの「働く」を応援します！ キャリアコンサルタントの仕事について～
- 5 ふじもん先生の旅プロジェクト(教育)
～自分の枠は本当に「自分の枠？」 世界が教えてくれた「しごと」とキャリアの見つけ方～
- 6 株式会社読売新聞グループ本社(報道) ～新聞記者の仕事～
- 7 北豊島医療専門学校(医療・スポーツ) ～整骨院、柔道整復師、スポーツトレーナーのお仕事～
- 8 株式会社ウィルビー・インターナショナル(通訳)
～グローバルに生きる 国際人たちの仕事 <通訳・翻訳の世界>～
- 9 フリーランスジャーナリスト(報道)
～未来の課題や不安を受け止める ジャーナリズムメディアの世界で働くということ～
- 10 東京ガスエンジニアリングソリューションズ(環境・開発)

——今後のこと——

来る10月27日(木)には1・2年対象の「大学説明会」が開かれます。3年生は9月6日に指定校推薦の第一次応募締切があり、9月23日は大学入試センター試験の志願票校内提出締切日です。一般推薦やAO入試の出願は始まっていますし、就職・公務員試験も続々実施されます。1・2年の比較的時間があがるうちに自分の進路について必要な情報や資料を収集し、じっくり考えていくのが良いのではないのでしょうか。

3年の6月から公務員等の出願が始まり9月からは大学を中心とした進学関係の手続が本格化します。何事も早くから十分な準備をして、具体的な作業に取り掛かったほうが成功する確率は上がります。進路の説明会や講演会など大いに活用して、自分の進む道を決めていってほしいと思います。